

平成30年度 水質検査項目一覧

I. 水質基準項目

区分	番号	検査項目	基準値	検査方法
病原生物	1	一般細菌	100個/mL以下	標準寒天培地法
	2	大腸菌	検出されないこと	特定酵素基質培地法
重金属	3	カドミウム及びその化合物	0.003mg/L以下	ICP-MS法
	4	水銀及びその化合物	0.0005mg/L以下	還元気化-原子吸光光度法
	5	セレン及びその化合物	0.01mg/L以下	ICP-MS法
	6	鉛及びその化合物	0.01mg/L以下	ICP-MS法
	7	ヒ素及びその化合物	0.01mg/L以下	ICP-MS法
	8	六価クロム化合物	0.05mg/L以下	ICP-MS法
無機物質	9	亜硝酸態窒素	0.04mg/L以下	イオンクロマトグラフ法(陰イオン)
	10	シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01mg/L以下	イオンクロマトグラフ-ポストカラム吸光光度法
	11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/L以下	イオンクロマトグラフ法(陰イオン)
	12	フッ素及びその化合物	0.8mg/L以下	イオンクロマトグラフ法(陰イオン)
	13	ホウ素及びその化合物	1.0mg/L以下	ICP-MS法
一般有機化学物質	14	四塩化炭素	0.002mg/L以下	HS-GC-MS法
	15	1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下	HS-GC-MS法
	16	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下	HS-GC-MS法
	17	ジクロロメタン	0.02mg/L以下	HS-GC-MS法
	18	テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下	HS-GC-MS法
	19	トリクロロエチレン	0.01mg/L以下	HS-GC-MS法
	20	ベンゼン	0.01mg/L以下	HS-GC-MS法
消毒副生成物	21	塩素酸	0.6mg/L以下	イオンクロマトグラフ法(陰イオン)
	22	クロロ酢酸	0.02mg/L以下	LC-MS法
	23	クロロホルム	0.06mg/L以下	HS-GC-MS法
	24	ジクロロ酢酸	0.03mg/L以下	LC-MS法
	25	ジブロモクロロメタン	0.1mg/L以下	HS-GC-MS法
	26	臭素酸	0.01mg/L以下	イオンクロマトグラフ-ポストカラム吸光光度法
	27	総トリハロメタン	0.1mg/L以下	HS-GC-MS法
	28	トリクロロ酢酸	0.03mg/L以下	LC-MS法
	29	ブロモジクロロメタン	0.03mg/L以下	HS-GC-MS法
	30	ブロモホルム	0.09mg/L以下	HS-GC-MS法
	31	ホルムアルデヒド	0.08mg/L以下	溶媒抽出-誘導體化-GC-MS法
着色	32	亜鉛及びその化合物	1.0mg/L以下	ICP-MS法
	33	アルミニウム及びその化合物	0.2mg/L以下	ICP-MS法
	34	鉄及びその化合物	0.3mg/L以下	ICP-MS法
	35	銅及びその化合物	1.0mg/L以下	ICP-MS法
味覚	36	ナトリウム及びその化合物	200mg/L以下	イオンクロマトグラフ法(陽イオン)
着色	37	マンガン及びその化合物	0.05mg/L以下	ICP-MS法
味覚	38	塩化物イオン	200mg/L以下	イオンクロマトグラフ法(陰イオン)
	39	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300mg/L以下	イオンクロマトグラフ法(陽イオン)
	40	蒸発残留物	500mg/L以下	重量法
発泡	41	陰イオン界面活性剤	0.2mg/L以下	固相抽出-高速液体クロマトグラフ法
臭気	42	ジェオスミン	0.00001mg/L以下	PT-GC-MS法
	43	2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/L以下	PT-GC-MS法
発泡	44	非イオン界面活性剤	0.02mg/L以下	固相抽出-高速液体クロマトグラフ法
臭気	45	フェノール類	0.005mg/L以下	固相抽出-誘導體化-GC-MS法
味覚	46	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	3mg/L以下	全有機炭素計測定法
基礎的性状	47	pH値	5.8以上~8.6以下	ガラス電極法
	48	味	異常でないこと	官能法
	49	臭気	異常でないこと	官能法
	50	色度	5度以下	透過光測定法
	51	濁度	2度以下	積分球式光電光度法

Ⅱ. 水質管理目標設定項目

区分	番号	検査項目	目標値	検査方法
無機物質 ・重金属	1	アンチモン及びその化合物	0.02mg/L	ICP-MS法
	2	ウラン及びその化合物	0.002mg/L(暫定)	ICP-MS法
	3	ニッケル及びその化合物	0.02mg/L	ICP-MS法
一般有機 化学物質	5	1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L	HS-GC-MS法
	8	トルエン	0.4mg/L	HS-GC-MS法
	9	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	0.08mg/L	溶媒抽出-GC-MS法
消毒副生成物	10	亜塩素酸	0.6mg/L	二酸化塩素を使用していないので省略
消毒剤	12	二酸化塩素	0.6mg/L	
消毒副生成物	13	ジクロロアセトニトリル	0.01mg/L(暫定)	溶媒抽出-GC-MS法
	14	抱水クロラール	0.02mg/L(暫定)	溶媒抽出-GC-MS法
農薬	15	農薬類	検出値と目標値の比の和として、1以下	水源周辺を考慮し、汚染の可能性が低いので省略
臭気	16	残留塩素	1mg/L	ジエチル-p-フェニレンジアミン法
味覚	17	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	10~100mg/L	イオンクロマトグラフ法(陽イオン)
	18	マンガン及びその化合物	0.01mg/L	ICP-MS法
	19	遊離炭酸	20mg/L	滴定法
臭気	20	1,1,1-トリクロロエタン	0.3mg/L	HS-GC-MS法
一般有機 化学物質	21	メチル-t-ブチルエーテル	0.02mg/L	HS-GC-MS法
味覚	22	有機物等 (過マンガン酸カリウム消費量)	3mg/L	滴定法
臭気	23	臭気強度(TON)	3	官能法
味覚	24	蒸発残留物	30~200mg/L	重量法
基礎的性状	25	濁度	1度	積分球式光電光度法
腐食	26	pH値	7.5程度	ガラス電極法
	27	腐食性(ランゲリア指数)	-1~0	計算法
細菌	28	従属栄養細菌	2,000個/mL(暫定)	R2A寒天培地法
一般有機 化学物質	29	1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/L	HS-GC-MS法
着色	30	アルミニウム及びその化合物	0.1mg/L	ICP-MS法

Ⅲ. その他の項目

区分	番号	試験項目	試験方法
指標菌	1	大腸菌(最確数)	特定基質酵素培地法
	2	嫌気性芽胞菌	ハンドフオード改良培地法、メンブランフィルター法
基礎的性状	3	電気伝導率	電極法 (上水試験方法(2011年度版) II-3.10.2)
水源調査	4	総窒素	紫外線吸光光度法 (JIS K0102 45.2)
	5	総リン	高圧加熱法 (JIS K0102 46.3)
	6	生物化学的酸素要求量(BOD)	隔膜型酸素電極法 (上水試験方法(2011年度版) II-3.19.4)
	7	化学的酸素要求量(COD)	過マンガン酸カリウム滴定法 (JIS K0102 17)
	8	浮遊物質(SS)	ろ過法 (環境庁告示 付表8)
	9	アンモニア態窒素	イオンクロマトグラフ(陽イオン)法
有機物(消毒副生成物原因物質)	10	紫外線吸光度(UV-E260)	吸光光度法 (上水試験方法(2011年度版) II-3.21.2)
	11	トリハロメタン生成能	生成能測定法 (上水試験方法(2011年度版) IV-2.8.3)
耐塩素性病原生物	12	クリプトスポリジウム	健水発第0330006号 別添3
	13	ジアルジア	健水発第0330006号 別添3